

# カレーの市民

1

頭をかかえる人、うつむく人、歩みだす人……

6人の人物像が思い思いのかっこうをしてならんでいますが、  
実はこの6人は、ある同じ状況におかれているのです。

●いったいこのひとたちに、何がおころうとしているのでしょうか？

自由に  
想像して  
みましょう。

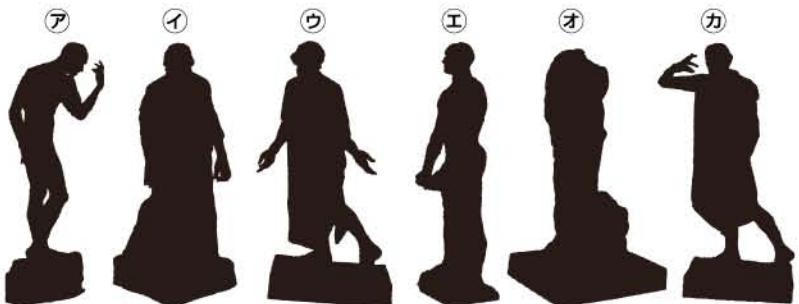
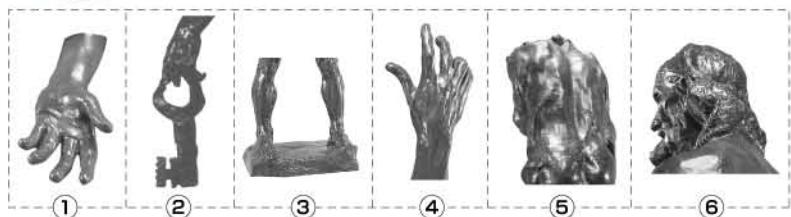
●どんなことから、それがわかるでしょうか？

こんなことにも  
注意して、  
彫刻をじっくり  
見てみましょう。

- ・どんなポーズ?
- ・どんな表情?
- ・どこを見ている?
- ・手、足、からだの形は?
- ・手、足、からだの動きは?

クイズ1

上の段に並んでいるのは、像のある一部分です。  
下の段に並んでいるのは、像のシルエット(かけ)です。  
それぞれどのシルエットの部分にあたるでしょうか。  
番号①～⑥とⒶ～Ⓑを線で結んでみましょう。



(こたえは27ページの下)

これらの6人は、今から600年以上も前、フランスのカレーという町に住んでいた人たちでした。当時フランスは、100年にもわたるイギリスとの戦争の真っ最中だったのです。1346年、力のまさっていたイギリスは、ついにフランスのカレーの町に攻めこみ、最も身分の高い人6人の身がらと、町の門のカギをひきわたすことを要求してきました。この時、死を覚悟して自ら人質を名のりでた人たちこそが、この彫刻の像、「カレーの市民」だったのです。

けれども、死を決心することは決してたやすいことではありません。その心の葛藤は、それぞれの人物のからだを通してひとりひとり違った形であらわれています。それぞれの人物の声にならない心の中を想像して、ふきだしに言葉を書き入れてみてください。

